

「東京圏における社会資本の効用」 を公表

総合技術政策研究センター 建設経済研究室 主任研究官 鈴木 学



1. 経緯

社会資本が国民生活に対してもたらしている効果の多くは時間の経過とともに、その存在が生活の前提として、空気のような当然のものとなり、施設によっては存在自体が忘れ去られてしまっているものもあります。社会資本の効果は整備直後のみならずストックの積み上げにより、より多くの効用が継続的にもたらされていますが、必ずしも多くの国民にわかりやすい形で伝わっていないと考えられます。

ともすると存在が認識され難い社会資本について、広く国民全体がその在り方を考える契機を提供するために、これまで社会資本整備が先行的・集中的に進められてきた東京圏を対象とし、「東京圏における社会資本」を事例に、その効用と今後の課題を具体的に紹介するものとして「東京圏における社会資本の効用」をまとめ、平成17年8月に国総研のホームページ上で公表しました。まとめるにあたっては、国総研内の基本課題として掲げられている「時代に即した社会資本の整備・運営の在り方」を検討するために設置されている横断的組織の「公共投資プロジェクトチーム」において、関係各機関からの資料提供等の協力を得てまとめたものです。

2. 「東京圏における社会資本の効用」の構成

下表にあるように、東京圏に関する社会資本整備について、これまで行われてきた「先行投資」、「集中投資」により成し遂げられた効果を、整備目的ごとに整理し、首都東京が成し得てきた奇跡的な復興、成長を支えてきた社会資本整備についてまとめています。そんな中、社会の要求に追随するので精一杯であり、未完成となっている環状道路網等や整備が遅れている治水対策等について、全国に先行し急速に整備を行ってきたために現在の社会のニーズへ対

応出来ない施設について、また、今後急速に訪れる施設の老朽化時代の到来等における課題についての整理をしています。

3. 最後に

今後の人口減少・少子高齢化などによる社会構造の変化や、国民のニーズの多様化がより一層進む中、社会資本が与える効用について、様々な視点から議論をしていく際の参考として、読んだ方それぞれにその先の議論を広げて頂ければと考えています。また、この資料を参考として、東京圏以外の各地方においても今後の各地方の社会資本の姿を見出す際の参考として頂ければと思います。

「東京圏における社会資本の効用」は国総研の建設経済研究室のホームページからご覧頂けます。また、随時意見の募集も行っておりますので、ご覧頂きご意見を頂ければ幸いです。

(<http://www.nilim.go.jp/lab/pcg/tokyo/tokyo-infra.htm> 国総研のホームページのトップページのバナーから直接ご覧頂けます。)

表－1 「東京圏における社会資本の効用」の構成

- | |
|-----------------------|
| 0. はじめに |
| 1. 重点的に整備されてきた東京の社会資本 |
| 2. 東京の形をつくる社会資本 |
| 3. 人・モノの移動、交流を支える社会資本 |
| 4. 安全を支える |
| 5. 環境をまもり、つくる |
| 6. くらしを快適にする |
| 7. 活力を生む |
| 8. 東京圏の社会資本の課題 |
| 9. おわりに |